

ることの出来なかった時代に残した足跡がその後の時代に引き継がれていることを知ることは歴史を学ぶ者の楽しみである。その発音が聞こえてくるような気がする本である。多賀須幸男さんの研究に敬意を表し、本書を上梓されたことで『人物研究』の同人ではないものにも読む機会がいただけたことに感謝します。

(渡部 幹夫)

[考古堂書店, 〒951-8063 新潟市中央区古町通4番町563番地, TEL. 025 (229) 4058, 2012年11月, A5判, 217頁, 1,800円+税]

書籍紹介

財団法人日本国際医学協会 編 『黎明期の日本近代医学・薬学： 日独交流 150 周年記念出版』

日本国際医学協会が開催した2005年と2010年の国際治療談話会総会におけるシンポジウム・講演がまとめられ、日独交流150周年記念事業の一つとして出版された。英語タイトルはThe dawn of modern Japanese medicine and pharmaceuticals, ドイツ語タイトルはDie Morgendämmerung der Entwicklung der modernen japanischen Medizin und Pharmazieとなっている。第1部は日本語編で医学3章、薬学1章からなり、第2部は第1部と同内容の英語編である。非売品であるが、大学図書館等で閲覧可能であり、著者のウェブページで公開されている章もある。

内 容

第1部 日本語編

第1章 ヴォルフガング ミヒェル「近世から近代へ—初期日独交流における医学の諸相」

6

第2章 詫間武英「明治初期におけるドイツ医学導入の経過—相克と決断, 1869(明治2)年」

29

第3章 都築正和「ベルツ、スクリバによる日本医学育成と後世への影響」 38

第4章 山川浩司「日本の薬学研究・教育の黎明期とその影響」 53

第2部 英語編

Cap.1 Wolfgang Michel, Glimpses of medicine in early Japanese-German intercourse 72

Cap.2 Takehide Takuma, Introduction of German medicine to Japan in the beginning of Meiji Era — severe way to decision in 1869 95

Cap.3 Masakazu Tsuzuki, The Introduction of Modern Medicine to Japan by Drs. Bälz and Scriba and Their Legacy 97

Cap.4 Koji Yamakawa, Research and education in pharmaceutical sciences in Japan: the dawn and influence 117

(澤井 直)

[日本国際医学協会, 〒154-0011 東京都世田谷区上馬1-15-3 MK三軒茶屋ビル3階, TEL. 03 (5486) 0601, 2012年1月, B5判, 132頁, 非売品]